

オーク・コレクション展 Part IV

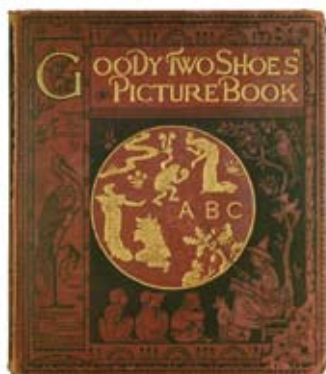
ー イギリス100年前の子ども部屋 ー

過去、のべ1,000人以上の来場者でにぎわったオーク・コレクション展を、2年ぶりに開催します。4度目のお披露目となる今回は、「イギリス100年前の子ども部屋」と題し、古き良き時代の絵本箱から抜け出してきたような、ぬくもりの感じられる作品を中心に、約50点を展示いたします。

ヴィクトリア時代のモードが繊細で美しいグリーナウェイの絵本、作者ミルンのサイン入り『クマのプーさん』初版本をはじめ、しかけ絵本やナーサリーライム、一流の音楽家が子ども部屋に捧げた“楽譜絵本”などを特集します。

また、特別展示として、モーリス・センダック作『かいじゅうたちのいるところ』（1963年）の25周年記念エディション（220部限定、特装ケース入り革装版）と、かいじゅうの直筆ペン画もお目にかけます。

なお、会場では、来春刊行予定の図録の予約も受付けます。秋の一日、ナーサリーソングが聴こえる短大ギャラリーに、是非、お出かけください！



左上より：ウォルター・クレイン作『くつふたつさん絵本』（1875）、H・ウィルビーク・ル＝メア画『私たちのナーサリー・ライム集』（1911）、アーネスト・H・シェパード画『ぼくたちは6歳』（1927）、キャスリーン・ヘイル画『長ぐつをはいた猫』（20世紀）

《オーク・コレクション》は、1993年に青山学院ゆかりの好機を得て、女子短期大学図書館に収蔵された、英米絵本・児童文学の貴重な古書、約270冊のコレクションです。青山学院大学の卒業生、故・大高公夫氏（絵本輸入業オークブックセラーズ社主、経営卒）が個人的に蒐集したものを、短大卒業生の仲介により当館が受け入れました。古くはヴィクトリア朝以前のチャップブックからセンダックの初期の仕事まで、140年あまりの絵本の流れを概観できる貴重な資料です。今後もふさわしい作品を少しずつ加えて、当コレクションの充実に努めたいと願っております。